

## No.114 会社訪問

代表取締役 五十嵐 康夫氏



## 五十嵐医科工業株式会社

会社プロフィール

代表者：代表取締役 五十嵐 康夫

所在地：〒113-0033 東京都文京区本郷3-25-2

TEL：03-3812-6101（代表）

創業：大正13年（1923年）

資本金：2,025万円

事業内容：麻酔器の製造・販売

医療器具・器械・病院設備一般の製造・販売など

URL：igarashi-ika.com

聞き手：南 明則（副広報委員長） 岡田康弘（事務局） 取材・撮影・編集：クリエイティブ・レイ(株)

創業90余年。医療を通じて社会に貢献し続ける  
医療器械製造販売業の草分け的存在

— 創業時の事業や創業当時の様子、および創業の経緯などをお聞かせください。

弊社の創業は大正13年（1924）ですから、今年で9年になります。五十嵐医科工業の創業者であり、私の祖父でもある五十嵐武夫は明治32年（1899）に千葉県東葛飾郡（現在の我孫子市）布佐で生まれました。12歳のころ、製油の行商を営んでいた父親から「夜学に行かしてやるから東京に奉公に行け」と丁稚奉公に出され、日本橋三丁目で医科器械の卸業を営んでいた木内伊之助商店で働くことになりました。

武夫は日本橋蛸殻町の商業学校は中退したものの、働きながら簿記や習字、英語の勉強を地道に続けていたそうです。大正9年（1920）には兵隊検査に合格。野戦重砲兵連隊で約2年間の兵役を終えると、再



創業者・五十嵐武夫氏

び木内伊之助商店に戻りますが、その一年後、大正12年（1923）関東大震災が発生。東京の中心部は壊滅的な被害を受け、木内伊之助商店も大きな打撃を受け、最終的には廃業に追い込まれてしまいます。自分ではどうしようもない災難に遭いながらも、祖父は大正13年（1924）神武天皇が即位したといわれる紀



昭和29年(1954)11月 五十嵐武夫商店前、康夫社長が2歳半の時(前列中央)



## 経営資料

— 御社の主な事業内容や主力商品、商品の特徴についてお聞かせいただけますか。

先ほども述べましたが、弊社は創業当時より、卸業として油紙、ゴム製品、体温計などの医療用品を扱ってまいりました。二代目の社長である父栄三が戦地から帰還すると何か新しいことをやろうと産婦人科で使用する医療機器・麻酔器の輸出を手がけ始めました。やがて、その経験やノウハウを活かして麻酔器の製造、販売を展開していくことになり、いつしか「麻酔器と言えれば五十嵐」とまで知れ渡るまでになりました。

現在の主力製品は、麻酔器に代わってディスプレイの外科手術用メスに代わりました。

昭和40年代のはじめ、外科手術用メスは輸入品の供給が不安定であったことと、国産メーカーが一家にしかないことに目をつけた専務が、カミソリで有名なフェザー安全剃刀さんにディスプレイ（使い捨て）の外科手術用メスを製品化できないかという話を持ち掛け、二年がかりの交渉の末、開発に至るようになりました。

製品化された外科手術用メスはそれまでのように使用後に殺菌したり、切れ味を元通りにするために刃を研ぐ手間がなく、業界で圧倒的な指示をいただくこととなり、今では多くの病院が弊社の製品を取り扱っています。このディスプレイの外科手術用メス、そして昭和59年（1984）に眼科部門の製品として商品化されたマイクロフェザーがなかったら弊社は存在していなかったかもしれません。

— これまで経営上もっとも困難だと感じになった時期や出来事があれば、お聞かせください。

私が社長業をついだのは平成2年（1990）バブル経済の終わりのころです。

経営上、困難だった出来事は薬事法違反によって業務停止の行政処分を命じられたことです。

弊社で製造販売していた麻酔・蘇生用具と同種の他社製品が医療事故を起こす事件が発生しました。その医療事故は、誤った使い方を使用することで呼気側の回路がふさがり、患者が呼気を吐き出せなくなってしまうというものでした。同じ構造をもつ

弊社の製品にも同様の問題が発生するおそれがあったため、平成13年（2001）から翌年まで全社をあげて自主回収を行いました。一旦回収を終了したのですが、その後、未回収品が事故を起こしたことが発覚してしまいます。厚生労働省から製品についての危害の発生や拡大を防止するための廃棄、回収、情報の提供をしなかったとして平成22年（2010）に25日間製造販売の業務停止処分を受けました。製品の数量がたいへん多いため、今現在も製品の回収をお知らせする広告を継続して出しています。

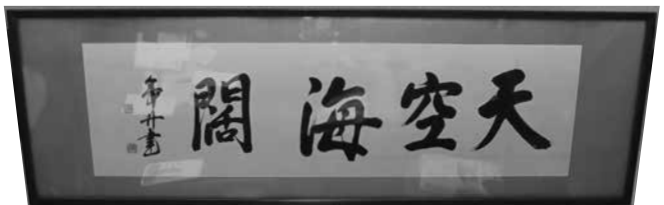
薬事法違反が発覚する前と後の顕著な違いとしては、医療TVドラマの撮影に使用する医療機器の貸し出しの依頼が全く無くなりました。それまではドラマのエンディングにたびたび弊社の社名がテロップで流れて、社員はもとより、彼らの子どもたちも喜んでくれたのですが、子どもたちの喜ぶ顔が見れなくなってしまったことは残念でした。

— 御社の経営理念や経営方針などをお聞かせいただけますか。

現在社員は28名いるのですが、彼らには自分たちが携わっている仕事は創業以来、90年以上にわたり、たくさんの人たちの命を救ってきた歴史があること。そして常に誇りを持って仕事に取り組むよう言い聞かせています。

また、弊社は残業ゼロを徹底しています。5時になったらシャッターも閉めて、電話に出ることも禁止にしています。「人間は日が沈むと悪いことを考えはじめるから会社に遅くまで残ってはいけない」という先代の社長の教えが今日に至るまで引き継がれています。

今後は、経済産業省が実施した月末の金曜日を午後3時に退社するプレミアムフライデーも考えていきたいと思っています。



創業者の直筆の書「天空海闊」



— 座右の銘やモットーなどがあれば、お聞かせください。

座右の銘は創業者が揮毫した書にもあるように「天空海闊(てんくうかいかつ)」です。天空は晴れ渡った広い空のこと。海闊は広々と果てしない海。転じて、ものにこだわらないおおらかな心、度量が大きく、包容力に富むことを意味しています。

さらに、もうひとつ挙げるとすれば親鸞聖人が詠んだ「明日ありと 思う心の仇桜 夜半に嵐の 吹かぬものかは」という和歌です。親鸞聖人が9歳のときに仏門に入る決心をして、慈円和尚のもとにやってきたのですが、すでに夜も更けていたため、和尚が夜が明けてから得度の式を執り行くと告げたのですが、それまで待てないことを親鸞聖人は自分の命を桜の花に喩えて「明日自分の命があるかどうかわからない、だからこそ今を精一杯生きたい」という思いをこの歌に込めて詠んだとされています。

なぜこの和歌を座右の銘に挙げたかと言いますと、2012年12月に中央自動車道・笹子トンネルでトンネルの天井版が落下する崩落事故が発生しました。私は年数回、信州・八ヶ岳の山小屋に車で行っていたので、一步間違えば、私もその崩落事故に遭っていたかもしれませんでした。ですから、この歌を胸に刻んで、公私共に毎日を悔いのないよう過ごそうと心がけています。

— 五十嵐社長の趣味や、休日に楽しんでいることがあれば、お聞かせください。

私はスポーツが好きで、テニス・野球、大学時代はラグビーに熱中していました。卒業後は上野のゴルフ店で働いていたこともあります。

趣味は子どものころから親しんでいるボウリングです。たまたま会社が後楽園(東京ドーム)のボウリング場に近いこともあり、足繫く通っています。ボウリング好きがこうじて、会社にボウリングクラブまでつくってしまいました。現在、社員28名中16名がクラブメンバーで、5時に会社を終えると東京ドームのボウリング場に直行します。ゲームを楽しんだ後、メンバーとの食事会も楽しみのひとつです。



五十嵐社長(左)とボウリングクラブのメンバー

月に1度、社員を集めてボウリング大会を開催して、親睦を深めています。ストライクやスペアをとるたびにハイタッチをするからなのかボウリングを取り入れて以降、社内のチームワークが良くなったと感じています。そのかいあってか、毎年秋に行われている東京科学機器協会主催のボウリング大会で4年連続団体優勝・準優勝他、私と社員が個人優勝・準優勝、レディース部でも社員が優勝いたしました。これも日頃の練習の成果と思っています。

最近ではオリーブ栽培にも凝っていて、会社の屋上で50鉢ほど栽培しています。日本でただ一人、JIS規格でオリーブの有機栽培している方のブログが面白かったことと、葉の形や色がなんとなく好きだったことから栽培に興味をもちはじめました。

最初はオリーブオイルを抽出するつもりで育てていたのですが、オイルを絞るには相当量のオリーブが必要なことと、絞る機械が必要なことがわかり、諦めました。栽培をはじめて4年ほどになりますが、昨年10月に収穫した7キロのオリーブは、塩漬けにして大学のイベント祭で販売しました。

— 最後に当協会について一言お願いします。

協会への入会は平成7年11月、(株)小林商店・池本理化工業(株)様のご紹介です。いつも協会からは、様々な情報をいただきありがとうございます。思うような協力や参加が出来ませんが、今後ともよろしく願いいたします。